

スポーツがつくるダイバーシティ社会

2015

12 / 5 (土)

ビッグイシュー基金では2004年よりホームレスサッカーチームを応援してきました。住居や仕事に加え希望も失った人にとって、サッカーやスポーツは人とのつながりや生きる意欲を取り戻すきっかけとなっています。

こうしたスポーツを通じた居場所や出会いの場をさらに広げるため、2015年、様々な分野の専門家とスポーツフォーソーシャルインクルージョン実行委員会をつくり、今年7月には「ダイバーシティカップ」を開きました。

ダイバーシティカップには、ひきこもりやうつ病、不登校経験者、養護施設や東日本大震災の被災地の若者、LGBTの方など、多様な背景を持つ人たちが10チーム146名参加しました。大会後の交流会では「自分と違う境遇の人と出会えて、自分のことや世界の見え方が変わった。大会を1度で終わらせず定期的に交流しこれからの糧にしたい」といった声も聞かれ、来年、2月に第2回の大会開催を目指し活動しています。

今回のフットサルコートシンポジウムでは、ダイバーシティカップを通して見えた可能性や課題をはじめ、当事者支援や社会においてスポーツの果たす役割、そして、ダイバーシティ社会にむけてスポーツを軸に、市民一人ひとりに何ができるのかを考える会にしたいと思います。1部は「スポーツがつくるダイバーシティ社会」と題したトークセッション、2部は参加型ワークショップを行います。皆様の参加をお待ちしています。

10時～13時半

レストランヴォルテックススポーツカフェ・
国立代々木競技場フットサルコートにて



- 日時 : 2015年12月5日(土) 10時~13時半
- 場所 : レストランヴォルテックススポーツカフェ・国立代々木競技場フットサルコート
東京都渋谷区神南2-1-1(原宿駅・明治神宮駅より徒歩10分)
- 参加費 : 2,000円(当日、受付にてお支払いください)
- 定員 : 先着50名まで
- 申込み : ビッグイシュー基金 HP (www.bigissue.or.jp) お申込みフォームよりお願いします。

〈1部〉10:00~

基調報告「ダイバーシティカップの可能性と課題」

長谷川知広: スポーツフォーソーシャルインクルージョン実行委員会事務局

10:20~11:20

トークセッション「スポーツがつくるダイバーシティ社会」

大坪英太: NPO法人日本ブラインドサッカー協会事業管理部/ダイバーシティ事業部

- 視覚障がい者と健常者がサッカーを通じて混ざりあう社会を

知念啓: daimonCUP(沖縄発の女子フットサル大会)実行委員会

- 誰もが誰かのセーフティネットである社会へ

小澤いぶき: Pieces代表、児童精神科医

- Diversity × Inclusion × Children(誰もが権利と尊厳をもって生きている社会に)

モデレーター: 荒昌史(HITOTOWA INC./social football COLO代表)

〈2部〉11:45~

フットサルコートで体験型ワークショップ

※動きやすい服装でお越しください。

〈3部〉12:45~13:30

まとめのトークセッション

